

## チャートの作成

THUMGY Dataで作成したテーブルからチャートを作成する場合はプロジェクトメニューから「チャート」コマンドを選択して実行します。

### ◇作成できるグラフの一覧

| グラフ名             | アイコン                                                                                | グラフの説明                                                                                                                                                        |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 積み上げ縦棒グラフ        |    | 積み上げ縦棒グラフは、フィールドごとの合計値を縦棒で表しつつ、その内訳を色分けして積み上げて表示するグラフです。<br>1本の棒の中に複数のフィールドを重ねることで、合計値の大きさと構成要素の比率を同時に確認できます。                                                 |
| 積み上げ棒グラフ         |    | 積み上げ棒グラフは、フィールドごとの合計値を横棒で表しつつ、その内訳を色分けして積み上げて表示するグラフです。<br>1本の棒の中に複数のフィールドを重ねることで、合計値の大きさと構成要素の比率を同時に確認できます。                                                  |
| 集合縦棒グラフ          |    | 集合縦棒グラフは、フィールドごとの値を複数項目で並べて比較できるグラフです。<br>縦棒が横方向に並んで表示されるため、フィールド間の大小関係や差を直感的に把握できます。                                                                         |
| クラスター棒グラフ        |  | クラスター棒グラフは、横棒形式の集合グラフです。<br>カテゴリを縦軸に配置し、数値を横方向の棒で表します。<br>カテゴリごとに複数フィールドを並べて表示できるため、フィールドごとの比較がしやすい形式です。                                                      |
| 100%積み上げ縦棒グラフ    |  | 100%積み上げ縦棒グラフは、各フィールドの値の合計を100%（全体）として扱い、その中で値の割合を棒の高さで表すグラフです。<br>通常の積み上げ縦棒グラフが「合計値の大小＋構成」を表すのに対し、100%積み上げ縦棒グラフは「割合の違い」に焦点を当てます。                             |
| 100%積み上げ棒グラフ     |  | 100%積み上げ棒グラフは、各フィールドの値の合計を100%として扱い、その内訳を横棒の長さで割合表示するグラフです。<br>縦方向に項目を並べ、横棒の中で色分けされた値が占める割合を表現します。「100%積み上げ縦棒」と概要は同じですが、横方向に展開するためカテゴリ数が多い場合やラベルが長い場合に適しています。 |
| 折れ線グラフ           |  | 折れ線グラフは、連続するデータの推移や変化の傾向を線で結んで表現するグラフです。特に“時間の経過（時系列データ）”を表すのに適しており、増加・減少の動きを直感的に把握できます。<br>複数のフィールドを重ねて比較することも可能です。                                          |
| 折れ線グラフと積み上げ縦棒グラフ |  | 折れ線グラフと積み上げ縦棒グラフを組み合わせる表示する複合グラフです。<br>「値の内訳」と「値の推移」を同時に確認できるグラフです。                                                                                           |
| 折れ線グラフと集合縦棒グラフ   |  | 折れ線グラフと集合縦棒グラフを組み合わせる表示する複合グラフです。<br>「カテゴリごとの複数フィールドの値を比較」と「値の推移」を同時に確認できるグラフです。                                                                              |
| 円グラフ             |  | 円グラフは、全体を円（100%）として扱い、その中を扇形で分割して各カテゴリの割合を表すグラフです。<br>1つのフィールドの値の合計をカテゴリごとに分け、全体に対してどれくらいの比率を占めるかを直感的に把握できます。                                                 |

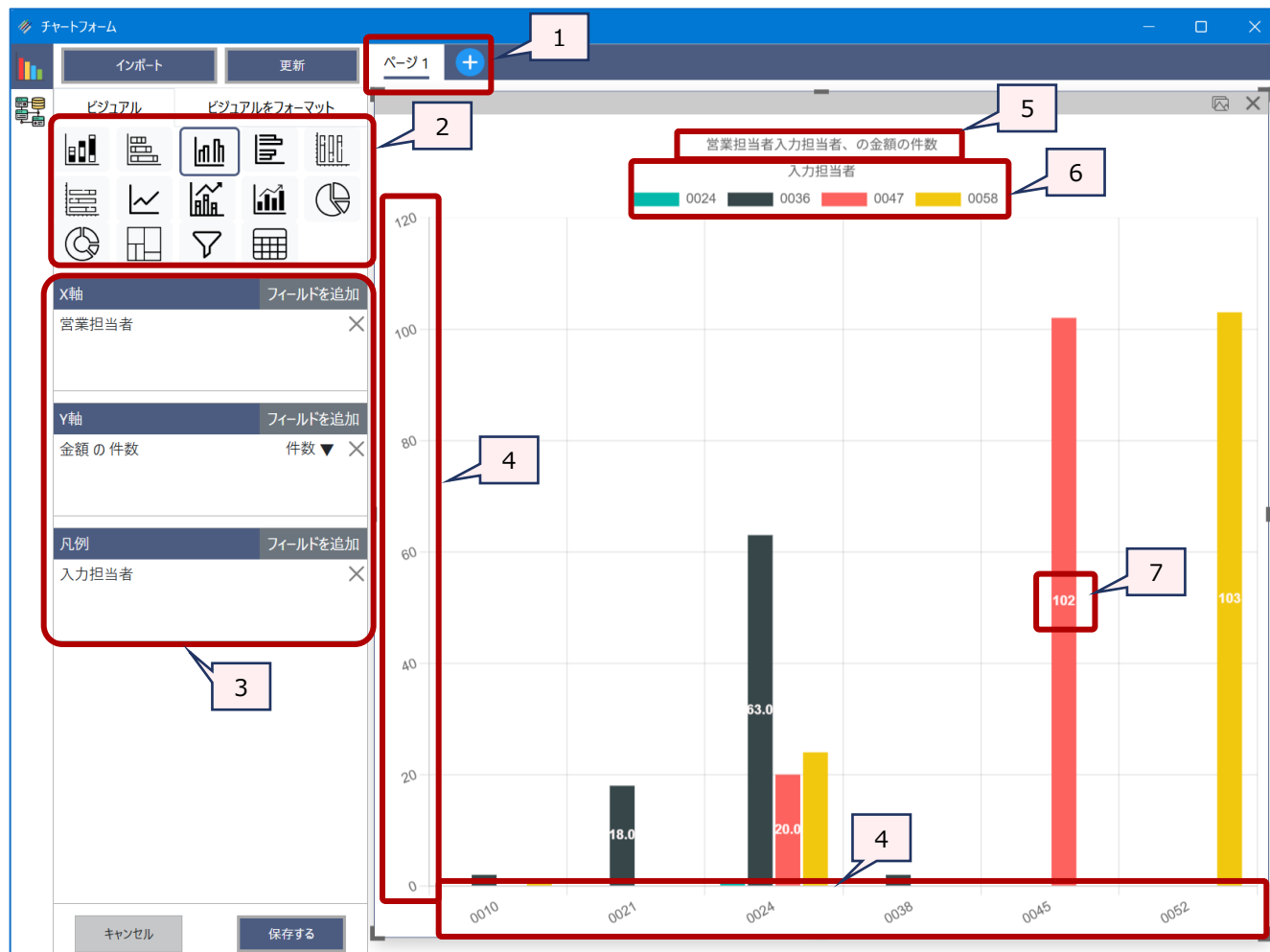
◇作成できるグラフの一覧

| グラフ名    | アイコン                                                                              | グラフの説明                                                                                                                          |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ドーナツグラフ |  | ドーナツグラフは、円グラフの中央をくり抜いた形のグラフです。<br>基本的な仕組みは円グラフと同じで、全体（100%）に対する各カテゴリの割合を円環の扇形で表現します。<br>中央にスペースができるため、合計値や主要な指標を表示できる点が大きな特徴です。 |
| ツリーマップ  |  | ツリーマップは、データを長方形の面積で表現するグラフです。<br>全体を1つの長方形とし、その中をカテゴリごとの値の大きさに応じて分割して表示します。各長方形の面積が値をます。<br>「どのカテゴリが大きな割合を占めているか」を直感的に把握できます。   |
| スライサー   |  | スライサーは、グラフや表に対してデータを絞り込むための操作作用ビジュアルです。<br>カテゴリを選択することで、ダッシュボード上の複数のグラフや表にフィルターをかけることができます。                                     |
| テーブル    |  | 指定したテーブルのレコードを表示します。                                                                                                            |

## ◇チャートの用語集

### <グラフ作成画面>

グラフ作成画面では、グラフの作成やフィールドの指定に加え、グラフの配置やサイズの変更を行うことができます。

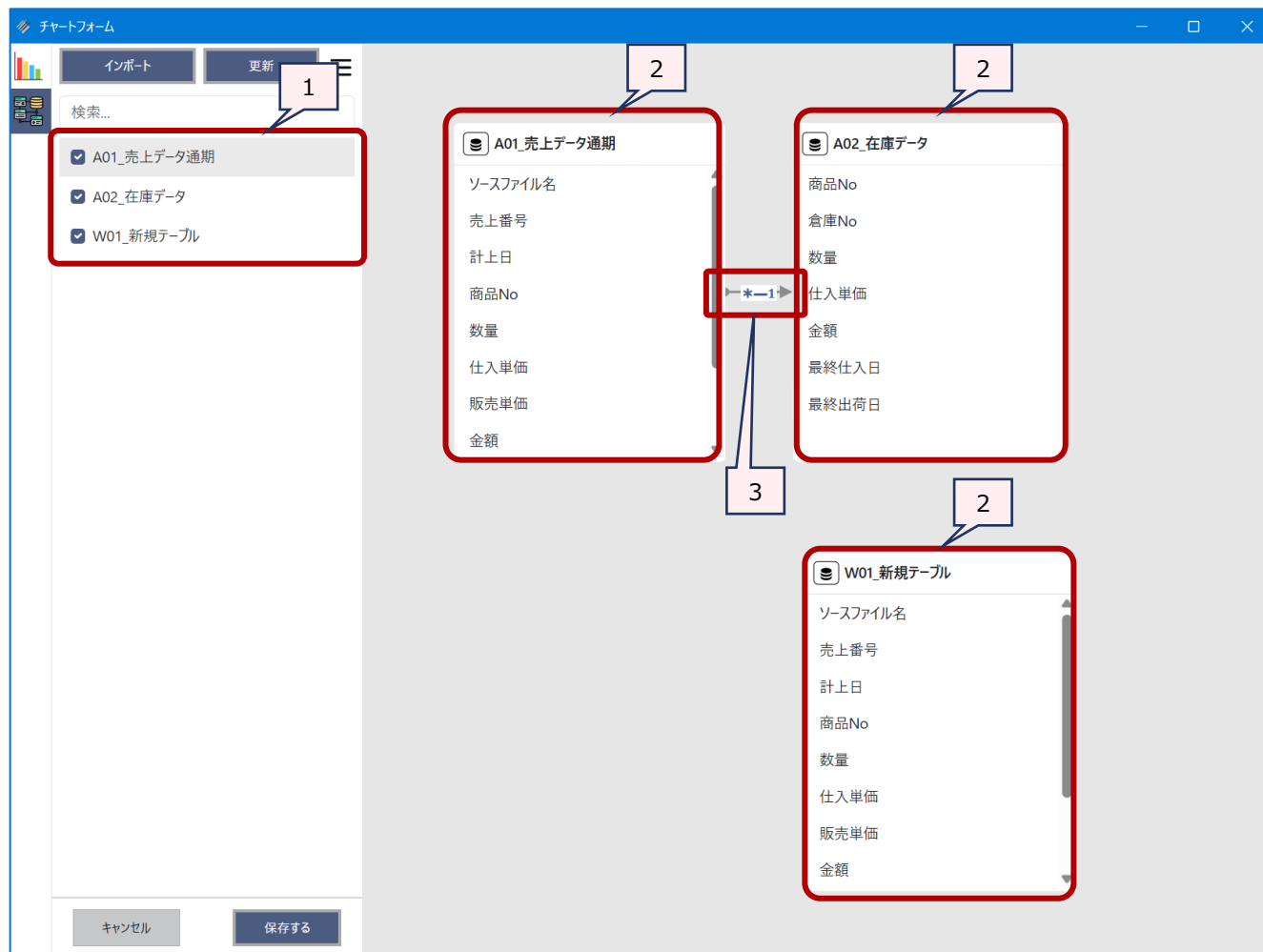


1. ページ : グラフを作成するワークスペースです。  
⊕ボタンをクリックすることによりシートを追加することができます。
2. ビジュアル : 作成できるグラフの一覧が表示され、選択したグラフがシートにが表示されます。
3. グラフの構成要素 : グラフの作成に必要な構成要素です。  
構成要素は、選択したグラフの種類によって異なります。
4. ラベル : X軸やY軸に表示される数値や名称など、グラフを構成する基本要素です。  
データラベルは選択したグラフの種類によって異なります。
5. グラフタイトル : グラフタイトルを表示します。  
タイトル名、タイトルの位置、文字の書式は「グラフの書式」画面で変更できます。
6. 凡例 : 凡例は、指定したフィールドの項目ごとにグラフを色分けして区分します。  
凡例は、選択したグラフの種類によっては指定できない場合があります。
7. データラベル : 凡例ごとの数値の値を表示します。  
データラベルのON・OFF、文字の書式は「グラフの書式」画面で変更できます。  
データラベルは、選択したグラフの種類によっては表示できない場合があります。

## ◇チャートの用語集

### <モデルビュー画面>

モデルビュー画面では、インポートされたテーブルの確認、テーブル間のリレーションの定義を行うことができます。



1. インポートデータ一覧 : インポートしたデータの一覧が表示されます。  
☒マークをクリックしたテーブルが表示されます。
2. テーブルビュー : インポートデータ一覧で☒マークをクリックしたテーブルのテーブル名とフィールドの一覧が表示されます。
3. リレーションシップアイコン : テーブル間のリレーションを定義すると、リレーションアイコンが表示されます。  
 矢印の始点となるテーブルが主テーブル、終点となるテーブルが副テーブルとなります。  
 また、リレーションアイコン内にある文字列は選択したリレーションパターンにより異なります。

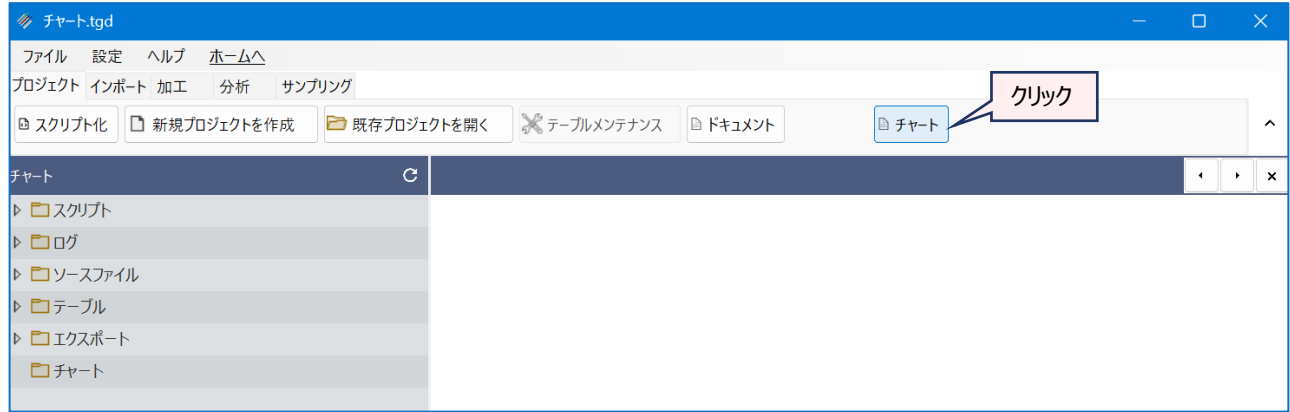
#### <リレーションパターンの説明>

- \*-1(多対1) : 副テーブルでは一意の値に対し、主テーブルには複数の対応する値が存在する関係
- 1-1(1対1) : 両方のテーブルで一意の値が対応する関係。
- 1-\* (1対多) : 主テーブルでは一意の値に対し、副テーブルには複数の対応する値が存在する関係

◇チャートの作成手順

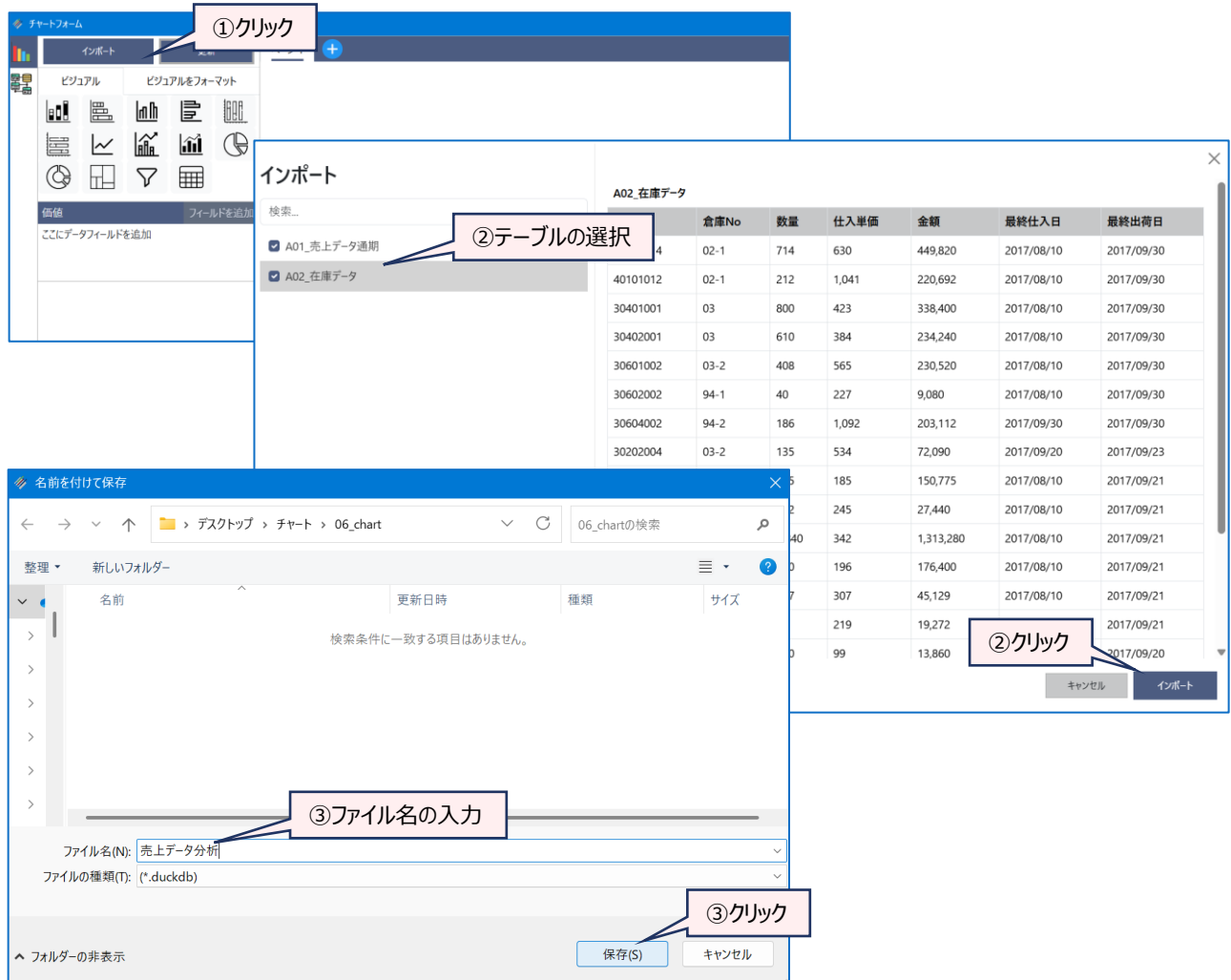
1.チャートファイルの作成

「プロジェクト」>「チャート」をクリックしてグラフ作成画面を開きます。



2.テーブルデータのインポート

- ①チャートフォーム画面から「インポート」をクリックします。
- ②チャート作成対象のテーブルを選択して「インポート」をクリックします。
- ③ファイル名を入力して保存します。（※保存場所はプロジェクトフォルダ直下の「06\_chart」を指定してください）



◇チャートの作成手順

3.リレーションの定義（テーブル間のリレーションを定義したい場合）

- ①主テーブルの主キーとなるフィールドをドラックして、副テーブルの副キーとなるフィールドにドロップします。
- ②リレーションのパターンを選択して「保持する」をクリックします。

チャートフォーム

インポート 更新

検索...

A01\_売上データ通期

A02\_在庫データ

ソースファイル名

売上番号

計上日

商品No

数量

仕入単価

金額

A01\_売上データ通期

A02\_在庫データ

商品No

倉庫No

数量

仕入単価

金額

最終仕入日

①ドラッグアンドドロップ

主テーブル：ドラッグしたテーブル  
主キーフィールド：ドラッグしたフィールド  
副テーブル：ドロップしたテーブル  
副キーフィールド：ドロップしたフィールド

リレーションシップを追加

関連するテーブルと列を選択

テーブルから

A01\_売上データ通期

| ル名    | 売上番号  | 計上日            | 商品No     | 数量 | 仕入単価 | 販売単価 | 金額     | 営業担当者 | 入力担当者 | 入力日時           |
|-------|-------|----------------|----------|----|------|------|--------|-------|-------|----------------|
| 売上... | 11509 | 2017-01-30 ... | 30202001 | 4  | 801  | 2800 | 11200  | 0038  | 0036  | 2017-01-01 ... |
| 売上... | 11510 | 2017-01-01 ... | 30604002 | 5  | 1092 | 5000 | 25000  | 0038  | 0036  | 2017-01-01 ... |
| 売上... | 11511 | 2017-01-01 ... | 30103006 | 55 | 734  | 3000 | 165000 | 0052  | 0058  | 2017-01-01 ... |

テーブルへ

A02\_在庫データ

| 商品No     | 倉庫No | 数量  | 仕入単価 | 金額     | 最終仕入日               | 最終出荷日               |
|----------|------|-----|------|--------|---------------------|---------------------|
| 30301014 | 02-1 | 714 | 630  | 449820 | 2017-08-10 00:00:00 | 2017-09-30 00:00:00 |
| 40101012 | 02-1 | 212 | 1041 | 220692 | 2017-08-10 00:00:00 | 2017-09-30 00:00:00 |
| 30401001 | 03   | 800 | 423  | 338400 | 2017-08-10          |                     |

カーディナリティ

多対1 (\*:1)

②リレーションパターンを選択

(※リレーションパターンの説明はP3を参照)

②クリック

保存する

A01\_売上データ通期

ソースファイル名

売上番号

計上日

商品No

数量

仕入単価

販売単価

金額

A02\_在庫データ

商品No

倉庫No

数量

仕入単価

金額

最終仕入日

最終出荷日

リレーションが定義されます

5

© 2025 Sankei Biz Consulting, Corp.

## ◇チャートの作成手順

### 4. グラフ作成

- ① グラフ作成画面を開きビジュアルから作成したいグラフを選択します。
- ② グラフの構成要素にフィールドを追加してグラフを作成します。  
(※グラフ毎の構成要素の説明は各グラフの機能説明書を参照してください)
- ③ 「グラフの書式」をクリックして、グラフの書式を設定します。
- ④ 「保存する」をクリックして作成したグラフを保存します。

① グラフ作成画面を開く

① グラフを選択

② クリック

② テーブルの選択

② フィールドの選択

② クリック

グラフが作成されます

② 必要な項目にフィールドを追加

チャートフォーム

インポート 更新 ページ 1

ビジュアル ビジュアルをフォーマット

フィールドを追加

ここにデータフィールドを追加

X軸

ここにデータフィールドを追加

Y軸

ここにデータフィールドを追加

テーブル

A01\_売上データ通期  
A02\_在庫データ

フィールド

ソースファイル名  
売上番号  
計上日  
商品No  
数量  
仕入単価  
販売単価  
金額  
☒ 営業担当者  
☐ 入力担当者  
☐ 入力日時

A01\_売上データ通期  
× 営業担当者

キャンセル 保存する

営業担当者入力担当者、の金額の合計

入力担当者

0024 0036 0047 0058

25,000,000  
20,000,000  
15,000,000  
10,000,000  
5,000,000  
0

0010 0021 0024 0038 0045 0052

X軸

フィールドを追加

営業担当者

Y軸

フィールドを追加

金額の合計

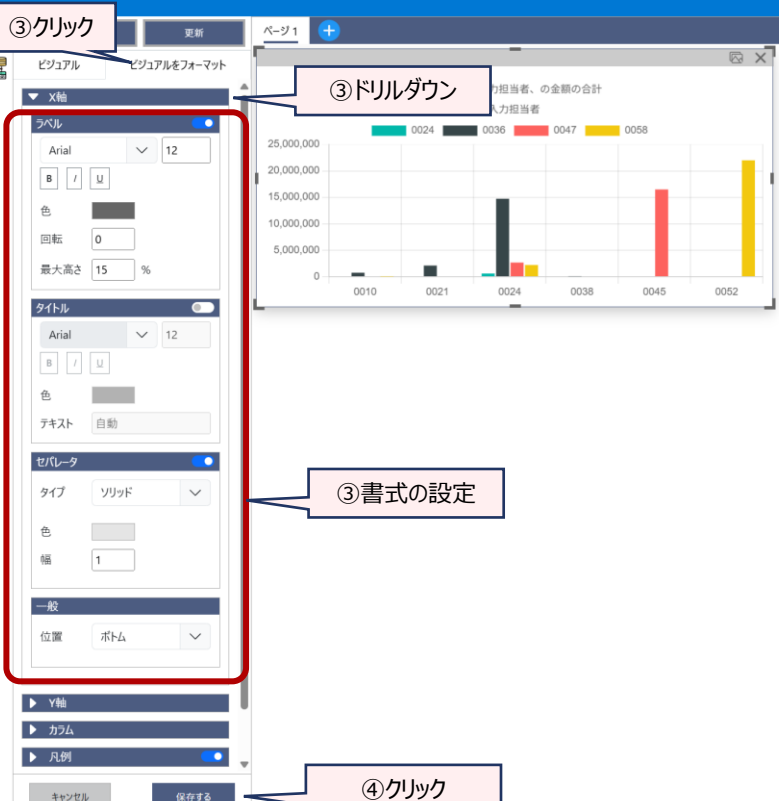
合計 ▼

凡例

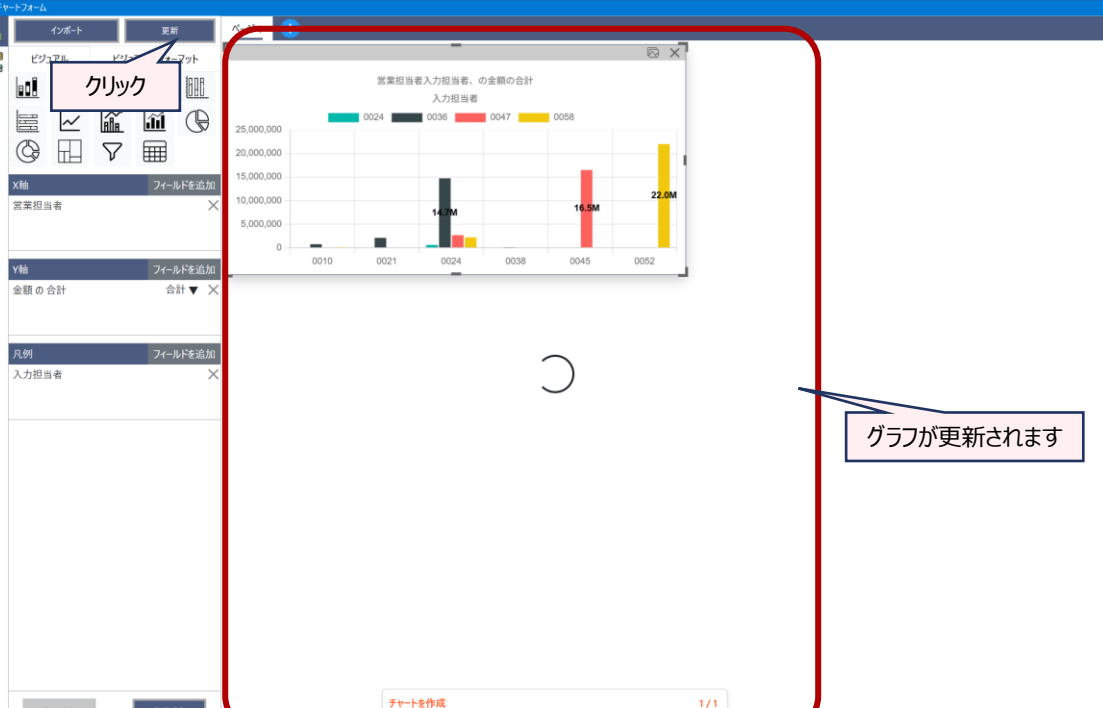
フィールドを追加

入力担当者

## 4. グラフ作成

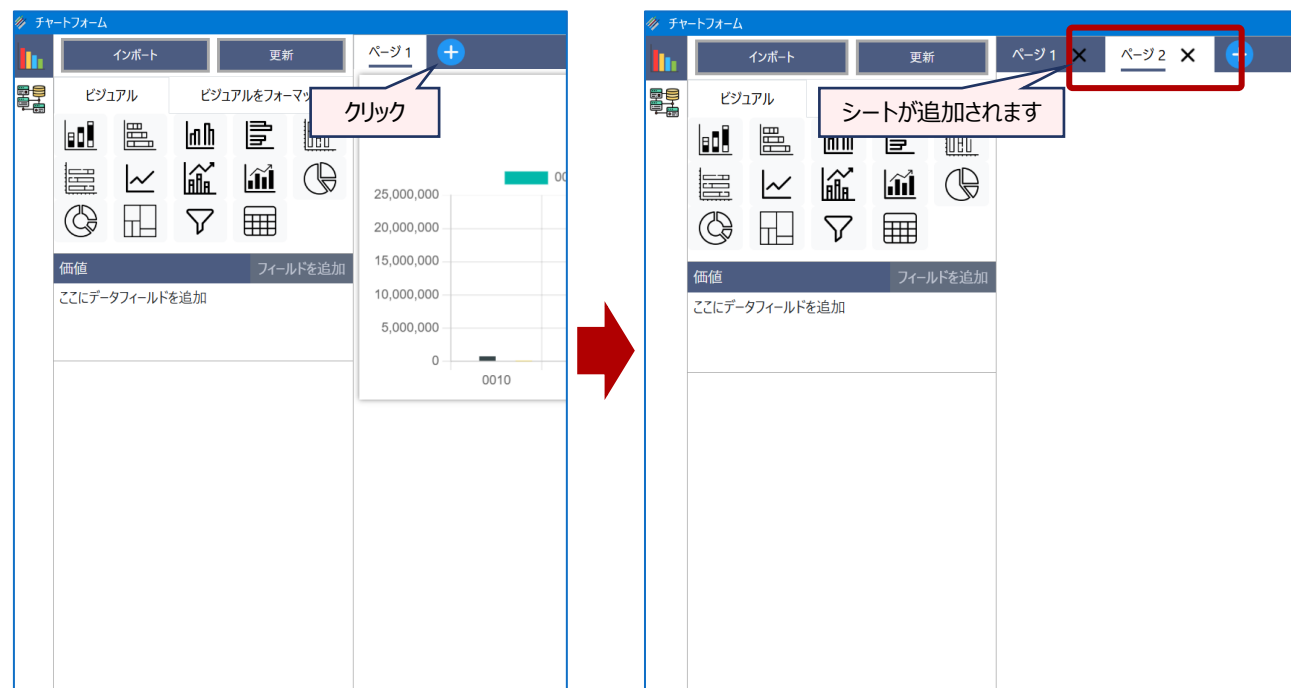


グラフの基となるテーブルの値が変更された際に、グラフを更新する場合「更新」ボタンをクリックします。



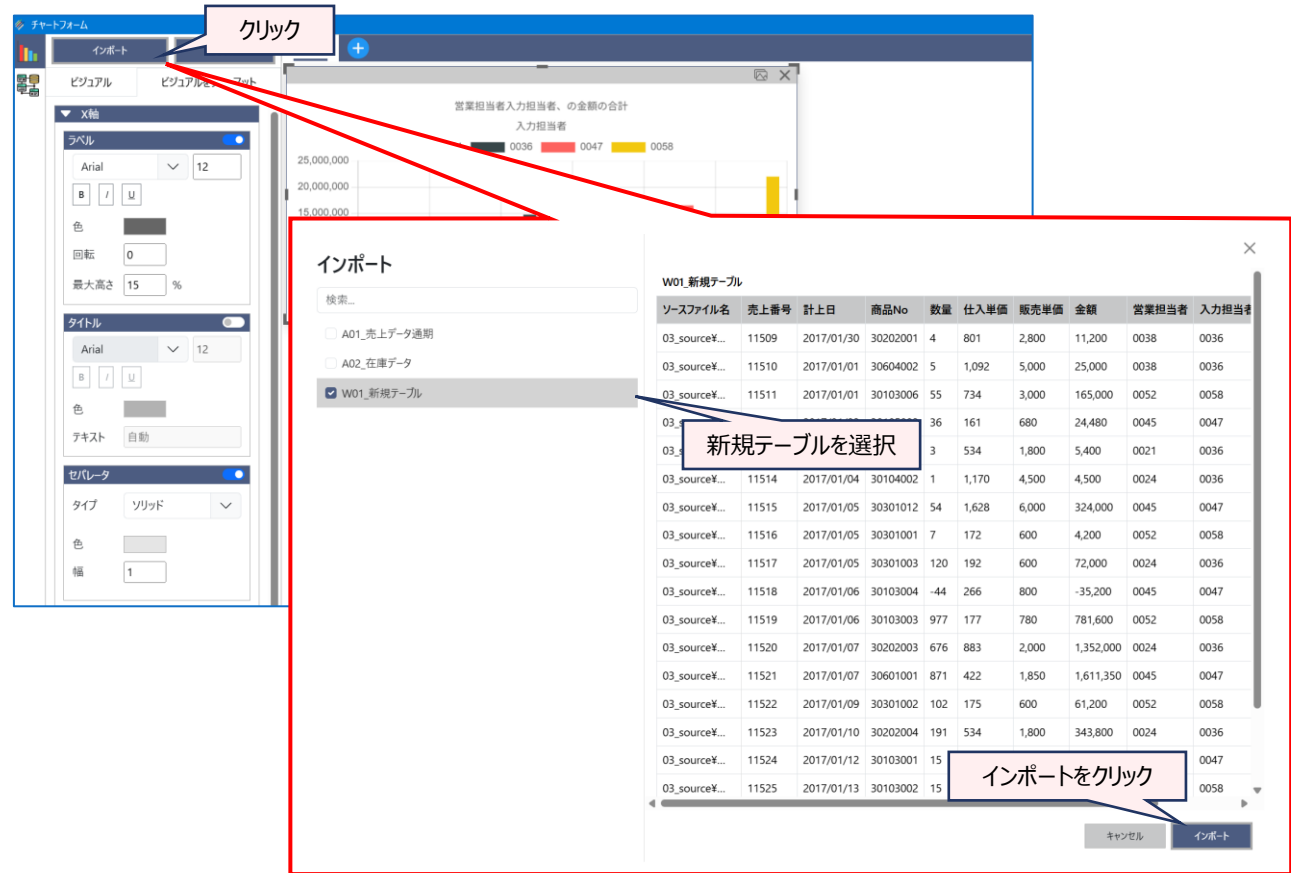
◇シートの追加

同じチャートファイルの中に新しいシートを追加する場合は「+」ボタンをクリックします。



◇新規テーブルのインポート

新規テーブルをインポートする場合は「インポート」ボタンをクリックしてインポート画面から対象のテーブルを選択してインポートします。



## ◇操作ログ

### <チャートファイル作成時>

**CREATE DATA CHART TO** “チャートファイル名” **ADD TABLES** “テーブル名1” “テーブル名2” …

### <リレーションの定義時>

**DEFINE RELATION CHART TABLE** “主テーブル” **JOIN** “副テーブル” **PKEY** [主キーフィールド]  
**SKEY** [副キーフィールド] **TYPE** “リレーションパターン” **WITH DATA** “チャートファイル名”

### <グラフ作成時>

**CREATE CHART TYPE** “グラフ種類” **TABPAGE** “n” “グラフ種類ごとに指定した項目とフィールド※1”  
**X-AXIS-ROTATE**※2 “n” **Y-AXIS-ROTATE**※2 “n” **DATALABEL** “on or off” **LEGEND-POSITION** “凡例位置” **TITLE-POSITION** “タイトル位置” **TITLE-TEXT** “チャートタイトル名”  
**WIDTH**※3 “n” **HEIGHT**※3 “n” **CHART-X**※4 “n” **CHART-Y**※4 “n” **DEFAULTFORMAT**  
**CHARTID** “チャートID” **WITH DATA** “チャートファイル名” **OPEN**

- ※1 グラフ種類ごとに指定した項目とフィールドはグラフ毎にグラフ毎に異なります。  
各グラフで作成される操作ログは各グラフの機能説明書を参照してください。
- ※2 X軸、Y軸のラベルの回転（角度）を指定します。
- ※3 グラフサイズの操作ログになります。  
WIDTH “n”が横幅、HEIGHT “n”が高さを指定します。
- ※4 グラフ位置の操作ログになります。  
グラフの左上の頂点の縦の位置をCHART-X “n”、横の位置をCHART-Y “n”で指定します。